

## 第4次豊田市国際化推進計画について

### 1 計画の位置付け・目的

上位計画である「第9次豊田市総合計画」の「こどもが多様な生き方、暮らし方を選択できる」、「誰もがつながり合いの中で安心して自分らしく暮らすことができる」姿の実現に向け、すべての市民が対等な関係を築こうとしながら、共に地域を創っていくための施策や代表的な取組を体系的にとりまとめ、着実な事業推進を図ることを目的とする。

### 2 国際化推進計画の経緯及び策定理由

- ・2009年度に「豊田市国際化推進計画」を策定
- ・2025年度末に現行の「第3次豊田市国際化推進計画」（2022年度～2025年度）が計画期間満了を迎えるため、同計画の評価・検証および課題等を踏まえるとともに、社会環境の変化に対応するため、第4次計画を策定する。

### 3 計画期間

2026年度から2030年度までの5年間

### 4 豊田市の外国人人口及び国の外国人受入れに関する動向

- ・外国人住民は約**2.2万人**で、**総人口の5.4%**を占め、増加が続いている。(2025年5月1日時点)
- ・国籍は**ブラジル**が最多だが**減少傾向**、**ベトナム**は**大幅増**で県全体では最多である。
- ・以前は外国人住民が保見地区に集中していたが、近年は居住の**散在化**が広がり、国籍も増加傾向にある。
- ・国内の構造的な人手不足を背景に、特定技能制度の受入枠の上限を大幅に上方修正し、今後5年間で**82万人に増やすことを決定した**。本市の外国人人口もさらに増加が見込まれる。(2024年3月閣議決定)

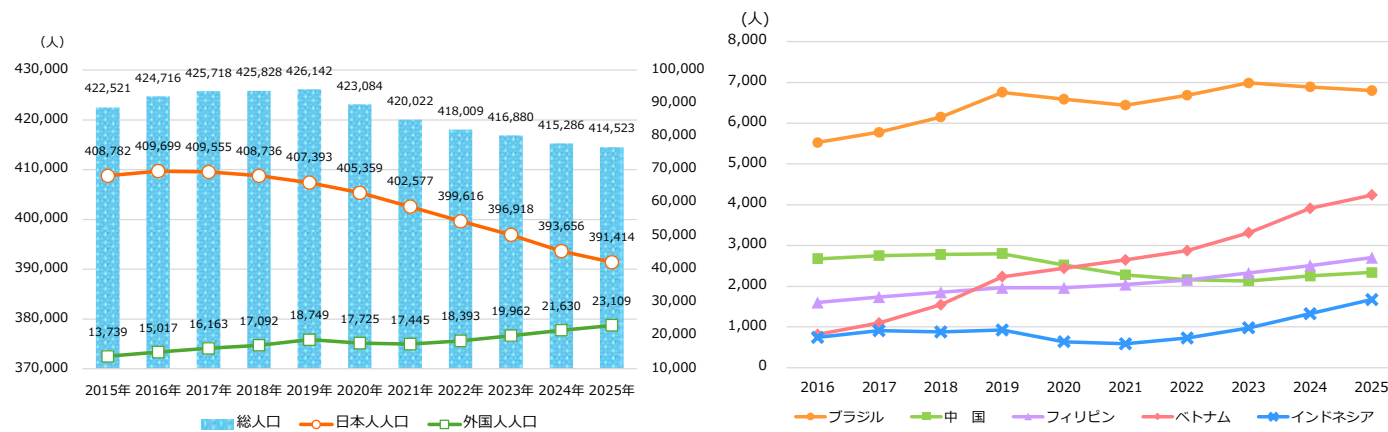


図1：総人口の推移（各年10月1日）

図2：上位5か国の人口推移（各年10月1日）

### 5 現計画の実施状況と見えてきた課題

#### （1）実施状況

ライフステージに応じた日本語学習支援の実施、公式HPの外国人向け情報の集約や緊急メールの多言語対応強化など、外国人住民への情報アクセスの円滑化と住みよさの向上を図った。また、国際社会及び地域社会で活躍できる人材の育成を図るため、姉妹都市交流に加え学校間交流を拡充するとともに、国際イベントでの活躍機会を創出するなど、国際理解の機会創出と人材育成を推進した。

#### （2）達成状況

- ・外国人住民意識調査では、「地域の活動や行事に参加していない」が**36.8%で最多**であるものの、「参加している」は前回調査より**5.3ポイント増加**、「参加していない」は**6.5ポイント減少し、参加意欲が高まった**。
- ・市民意識調査では、「市内で開催された国際交流に関する活動に機会があれば参加したい」が**58.3%で最多**であり、前回調査より**26.8ポイント上昇した**。

#### （3）課題及び今後の方向性

- ・日本人住民の友好的意識や国際交流事業の参加といった相互理解に関する指標に課題がみられるため、多文化共生の意識醸成や、国際理解イベント等への参画促進が必要。
- ・日本語能力は向上傾向にあるものの、まだ十分とはいえず、引き続き支援が必要。そのため、日本語学習支援は継続しつつ、新たに地域社会への参画推進が求められる。
- ・異なる背景をもつ人々の共働に向けて、市民の多文化共生意識の更なる向上が必要。

### 6 第4次計画の基本理念及び基本目標、目指す姿（裏面参照）

#### 基本理念

## 多様な市民と共に創る多文化共生都市・とよたの実現

#### 基本目標1 互いに尊重し、共に支え合う地域社会の実現

- 目指す姿（1）外国人住民が地域社会に参画し、活躍している
- 目指す姿（2）多文化共生の意識がまち全体に根付き、支え合っている
- 目指す姿（3）多様な市民が自分らしく安心して暮らしている

#### 基本目標2 国際社会及び地域社会で活躍できる人材の育成

- 目指す姿（4）国際理解が地域の力となり、学びが循環している
- 目指す姿（5）国際感覚を備えた人材が育っている

### 7 第4次計画の新たな視点

第4次国際化推進計画では、外国人住民を「支援される側」ではなく「地域を支える主体の一員」として位置付け、日本人と外国人が共に地域を創る「共創」の視点を重視していることが特徴。

地域社会が持続的に発展していくためには、多様な市民の力を活かすことが不可欠。外国人を含む多様な人々が主体的に関わることで、相互理解や協働が進み、そして人々が共に生き、支え合う多文化共生社会の実現へとつながる。

8 施策体系

基本理念

多様な市民と共に創る多文化共生都市・とよたの実現

基本目標	目指す姿／取組項目	主な取組
1 互いに尊重し、共に支え合う地域社会の実現	目指す姿（１）外国人住民が地域社会に参画し、活躍している	
	取組項目① 円滑なコミュニケーションと社会参加のための日本語教育	・ 総合的な日本語教育推進施策の体系化 ・ 外国人の幼児向け日本語教室の開催 <b>拡充</b> ・ 外国人児童生徒等教育のさらなる充実 ・ とよた日本語学習支援システムの運営
	取組項目② 外国人の地域社会への参画支援	・ 外国人の地域社会参画推進 <b>新規</b> ・ 外国人住民が地域活動に参加しやすい環境づくり <b>拡充</b>
	目指す姿（２）多文化共生の意識がまち全体に根つき、支え合っている	
	取組項目① 多文化共生の意識向上	・ やさしい日本語の普及、多文化共生の理解促進
	取組項目② 多文化共生分野で活躍するキーパーソンと連携したネットワーク強化	・ 多文化共生の担い手づくり ・ キーパーソンとの連携
	目指す姿（３）多様な市民が自分らしく安心して暮らしている	
	取組項目① 子育て・こどもの教育	・ 多文化子育てサロンの開催 ・ 外国人の幼児向け日本語教室の開催（再掲） ・ 外国人児童生徒等教育のさらなる充実 ・ 外国人青少年学習支援・日本語学習を通じた就学サポート・居場所づくり
	取組項目② 生活情報等の発信・相談対応	・ 多言語化・やさしい日本語の活用 ・ 医療、福祉に関する情報の多言語での提供 ・ 外国人相談窓口、豊田市多言語サービスデスク、電話通訳サービス
	取組項目③ 防災・防犯対策、交通安全、緊急対応	・ 緊急メールとよたの多言語化 ・ 防災パンフレット（防災虎の巻）多言語化、コミュニケーション支援ボードの運用（災害時） ・ 交通ルールの周知などを通じた外国人が安心・安全に暮らせる環境整備
2 国際社会及び地域社会で活躍できる人材の育成	取組項目④ 就労支援	・ キャリア形成支援 ・ 就労のための日本語学習 ・ 多様な人材の活躍推進
	目指す姿（４）国際理解が地域の力となり、学びが循環している	
	取組項目 国際理解の推進	・ 子ども向け国際理解教育 ・ 市民向けの国際理解の促進、出前講座の促進 ・ 国際イベントにおける交流事業 ・ 多様な主体と連携した国際交流の推進
	目指す姿（５）国際感覚を備えた人材が育っている	
	取組項目 国際交流の機会創出と人材育成	・ 豊田市デトロイト市姉妹都市交流 ・ 豊田市ダービーシャー県等姉妹都市交流 ・ 豊田市トレヴェリアン基金を活用した国際交流促進 ・ 派遣経験者活躍機会の創出 ・ グローバル人材の育成

9 計画における指標

成果指標	基準値	目指す方向
①日本人との交流についてコミュニケーションギャップを感じる外国人住民の割合※ <sup>1</sup>	50.4% (2024 年度)	↘
②まわりの日本人が友好的であると思う外国人住民の割合※ <sup>1</sup>	52.3% (2024 年度)	↗
③様々な国の人が市内に多く住むことを好意的に捉えている日本人住民の割合※ <sup>2</sup>	56.3% (2023 年度)	↗
④相互理解がはかられ、日本人も外国人もともに暮らしやすいと思う住民の割合（１～７段階評価平均値）※ <sup>2</sup>	3.96 (2023 年度)	↗
⑤地域の活動（自治区活動や地域の行事など）に参加している外国人住民の割合※ <sup>1</sup>	61.1% (2024 年度)	↗
⑥国際交流活動に関する活動や事業に参加したことのある住民の割合※ <sup>2</sup>	7.0% (2023 年度)	↗

※<sup>1</sup> 基準値：第 5 回外国人住民意識調査 ※<sup>2</sup> 基準値：第 25 回市民意識調査

10 計画の進捗管理

庁内関係課と連携し、必要に応じて会議を開催しながら総合的に推進します。多様性社会共創課が取りまとめ役として進捗状況を把握・管理します。